

国公立医科大学長
国公立大学医学部長 殿
各関係機関の長

山形大学大学院医学系研究科長
永瀬 智
(公印省略)

皮膚科学講座担当教授候補者の推薦について (依頼)

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、皮膚科学講座担当教授の令和7年3月31日付け定年退職に伴い、後任の教授候補者を公募しておりましたが、公募期間を延長することとなりました。

ついては、貴機関又は関係機関において、皮膚科学を専門とし、同分野において臨床・教育・研究を担当可能な適任の方がおられましたら、下記により御推薦くださいますようお願い申し上げます。

おって、候補者の方には選考の過程で御来学若しくはweb上で、ヒアリング及びプレゼンテーションを実施いただくこと、さらに、手術を見学(見学不可の場合は、未編集のビデオ映像を送付)させていただく場合がありますので、あらかじめ御承知おき願います。

謹言

記

- 1 職種及び人員 教授 1人
- 2 所属 医学専攻皮膚科学講座
- 3 採用予定年月日 令和7年6月1日以降、可能な限り早い日
- 4 担当授業科目
学部担当科目：臓器疾患学(皮膚コース2)、全身性疾患学(外科系(皮膚科))、臨床実習(皮膚科)
大学院担当科目：皮膚科学、皮膚科学演習、皮膚科学実験実習、病棟カンファレンス、組織カンファレンス、抄読会・輪読会
※シラバスは以下URLからご覧いただけます。
<https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/life/lesson/syllabus>
- 5 応募資格：以下の全てに該当する者
 - (1) 医師免許所有者
 - (2) 皮膚科専門医資格所有者
 - (3) 大学または大学に準ずる機関において皮膚科学の教育・研究経験を持ち、博士の学位を有する者
 - (4) 皮膚科学について広い知識と経験を有し、情熱を持って学部および大学院における教育および研究指導、並びに診療をすることができる者
 - (5) 皮膚、また関連する附属器や皮下軟部組織の手術経験を有し、関連各診療科と協働することができる者
 - (6) 地域における皮膚科診療を統括・運営できる者
- 6 待遇等
採用時にテニユア審査が行われ、可とされた場合は、採用時から直ちにテニユア取得となります。

採用時審査で不可となった場合は、テニュアトラックとして任期は5年間となり、3年目もしくは5年目に学内規程に基づくテニュア審査が行われ、可とされた場合にはテニュアが付与されます。

※本学のテニュアトラック制度については、下記をご参照ください。

<https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/recruitment/20201105/>

<https://www2.id.yamagata-u.ac.jp/recruit/>

(1) 給与

国立大学法人山形大学年俸制（Ⅱ）適用職員給与規程による年俸制。
経験等を考慮し、基本年俸を決定します。

(2) 保険

文部科学省共済組合（健康保険・厚生年金），雇用保険，労災保険

7 試用期間 6か月

8 提出書類

以下の提出書類全てについて、紙媒体及び電子ファイル（電子ファイルの種類は以下に明記されたもの）を各1部提出をお願いします。

(1) 推薦書（A4判・縦型，様式任意，PDFファイル）

(2) 履歴書（様式1，Wordファイル）

(3) 業績目録（様式2，Excelファイル）

(4) 過去3年間に術者及び指導医として行った手術のリスト（術式毎のサマリー）
（様式任意，Excelファイル）

(5) 過去1年間の手術記録（様式任意，PDFファイル）

※提出していただいた手術の記録は、選考以外の目的には一切使用いたしません。

また、本学で責任を持って管理いたします。

応募される方の御判断になりますが、患者氏名等のプライバシーに関わる事項を黒塗又は削除していただいても結構です。

(6) 研究費受領状況一覧（様式3，Excelファイル）

(7) 過去10年間の臨床試験等への参加状況（様式4，Excelファイル）

(8) 診療及び地域医療に対する取り組みと抱負

（A4判・縦型，1，200字以内，様式任意，PDFファイル）

(9) 医学教育に対する取り組みと抱負

（A4判・縦型，1，200字以内，様式任意，PDFファイル）

(10) 研究の概要と今後の展望

（A4判・縦型，1，200字以内，様式任意，PDFファイル）

(11) 主要論文別刷（20編以内，PDFファイル）

9 公募締切日 令和7年5月30日（金）必着

10 手術見学及びヒアリング，プレゼンテーション 日時はおってお知らせします。

11 書類提出先 〒990-9585

山形市飯田西二丁目2-2

山形大学大学院医学系研究科長宛

（封書には「皮膚科学講座教授公募書類在中」と朱書のこと。）

12 問い合わせ先 山形大学飯田キャンパス事務部総務課人事担当

TEL 023-628-5005

FAX 023-628-5019

メールアドレス yu-isojin@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

13 その他

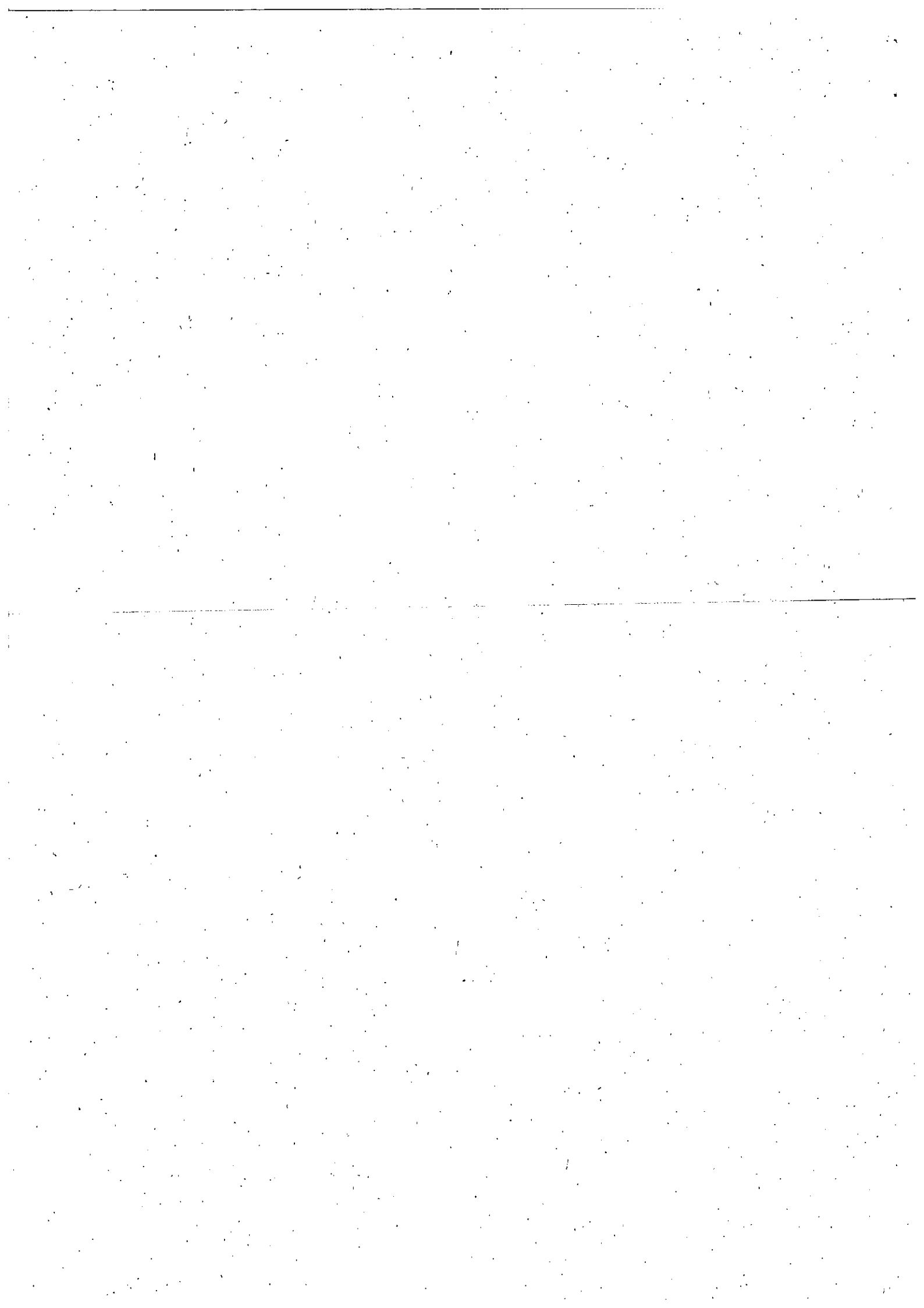
(1) 山形大学では全学をあげた男女共同参画の推進と、ワークライフバランスの実現に取り組んでいます。本学には、小白川キャンパス保育所，医学部保育所・病児保育室

など、各キャンパスに保育支援制度があり、子育て支援が充実しています。

また、ダイバーシティ研究環境実現のために、研究継続支援員制度、学会参加時の保育支援制度はじめ、女性研究者の活躍を支援する制度を整えています。詳細については、下記URLをご覧ください。

山形大学ダイバーシティ推進室 <http://www.yamagata-u.ac.jp/kenkyu/danjo/>

(2) 学生及び教職員に対するハラスメント、研究不正等を原因とする懲戒処分歴がある場合は、その具体的な事由を応募の際に必ず申告してください。なお、当該事実が後日判明した場合は、経歴詐称による採用取消、懲戒解雇等の対象となる場合があります。



氏名:

【原著】

Table with 6 columns: No., Author, Title, Journal Name (Vol. Page Year), Author Category, Responsibility, Impact Factor, Rank, and Web of Science Citation Count. Contains 3 entries.

【症例報告】

Table with 6 columns: No., Author, Title, Journal Name (Vol. Page Year), Author Category, Responsibility, Impact Factor, Rank, and Web of Science Citation Count. Contains 1 entry.

【総説】

Table with 6 columns: No., Author, Title, Journal Name (Vol. Page Year), Author Category, Responsibility, Impact Factor, Rank, and Web of Science Citation Count. Contains 1 entry.

【国際学会のProceeding】

Table with 6 columns: No., Author, Title, Journal Name (Vol. Page Year), Author Category, Responsibility, Impact Factor, Rank, and Web of Science Citation Count. Contains 1 entry.

【著書】

Table with 5 columns: No., Author, Title, Book Name (Page Year), and Publisher. Contains 2 entries.

【学会発表】

Table with 6 columns: No., Author, Title, Conference Name (Location Year), Author Category, Responsibility, Impact Factor, Rank, and Web of Science Citation Count. Contains 2 entries.

記入要領 (様式2)

- 1 原著, 症例報告, 総説, 国際学会のProceeding, 著書及び学会発表の順に, 各項目に分けて記載してください。
2 項目ごと英文を先, 和文を後とし, 年代の新しいものから順に記載してください。
3 具体的記載について
(1) 原著, 症例報告, 総説, 著書及び国際学会のProceedingについては, 原則として記載例にならってください。
(2) 学会発表については, 全国規模の国内学会(地方会・支部会除く)での特別講演, 教育講演, シンポジウム等, 及び国際学会で筆頭者として発表したものに限り
(3) 被引用回数記載にあたっては, 参照するデータベースはWeb of Scienceとし, データベース参照日を必ず記載してください。

履 歴 書

(令和〇〇年〇〇月〇〇日現在)

ふりがな 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇
氏 名: 〇 〇 〇 〇 〇 昭和42年(1967) 〇月〇〇日生(〇〇歳) 性別
(旧姓名: 〇 〇 〇 〇)

所属・職種: 〇〇大学〇〇学部〇〇学第二講座・准教授
〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇市〇〇町〇丁目〇〇-〇〇
電 話: 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 (直通) FAX: 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
メール: 〇〇〇〇@〇〇〇〇〇.〇〇.jp

現住所: 〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇市〇〇町〇丁目〇〇-〇〇-〇〇〇号室 本籍: 〇〇〇県
電話: 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

学 歴: 昭和61年(1986) 3月 〇〇高等学校卒業
平成4年(1992) 3月 〇〇大学医学部医学科卒業
平成〇〇年(〇〇〇〇) 4月 〇〇大学大学院医学研究科医学専攻入学
平成〇〇年(〇〇〇〇) 3月 同上 修了

免 許 等: 平成4年(1992) 4月16日 歯科医師免許(第〇〇〇〇〇〇号)
平成〇年(〇〇〇〇) 〇〇月〇〇日 厚生省〇〇〇〇〇資格認定医(第〇〇〇〇〇号)
平成〇年(〇〇〇〇) 〇月〇〇日 日本〇〇学会認定〇〇医(第〇〇〇〇〇号)
平成〇年(〇〇〇〇) 〇〇月〇〇日 日本〇〇〇〇学会認定指導医(第〇〇〇〇〇号)
学 位: 平成〇〇年(〇〇〇〇) 〇月〇〇日 医学博士(〇〇大学), または博士(医学)(〇〇大学)

職 歴: 平成〇年(〇〇〇〇) 〇月〇〇日 国立〇〇病院医員(研修医)(外科)
平成〇年(〇〇〇〇) 〇〇月〇〇日 同上 辞職
平成〇年(〇〇〇〇) 〇月 〇日 〇〇大学医学部助手(〇〇学第二講座)
平成〇年(〇〇〇〇) 〇〇月〇〇日 同上 辞職
平成〇年(〇〇〇〇) 〇月 〇日 〇〇県立〇〇病院(〇〇部)
平成〇年(〇〇〇〇) 〇月〇〇日 同上 辞職
平成〇〇年(〇〇〇〇) 〇〇月 〇日 米国〇〇〇〇〇〇大学研究員(〇〇学)
平成〇〇年(〇〇〇〇) 〇月〇〇日 帰国
平成〇〇年(〇〇〇〇) 〇月 〇日 〇〇大学医学部附属病院助教(〇〇部)
平成〇〇年(〇〇〇〇) 〇月 〇日 〇〇大学医学部講師(〇〇学第二講座)
令和〇〇年(〇〇〇〇) 〇月 〇日 〇〇大学医学部准教授(〇〇学第二講座)
現在に至る

所属学会等: 日本〇〇学会(評議員:平成〇年~現在)
日本〇〇〇学会
日本〇〇〇〇学会(評議員:平成〇年~現在)

社会貢献: 〇〇病院への応援診療(平成〇年~現在)
〇〇県〇〇〇審議会委員(平成〇年~令和元年)
〇〇〇高校における講演「〇〇〇〇(演題)」(令和〇年〇月〇日)
※特筆すべき活動のみを記載してください。

賞 罰: なし
※ハラスメント、研究不正等により処分を受けたことがある場合は必ず申告してください。

併願の有無: 無 有 () ※併願有の場合は機関名を記載ください。

記載例

研究費受領状況

(過去10年間)

氏名:

年度	種 目 (代表・分担の別)	研 究 課 題 名	金額 (円)
2020	文部科学省科学研究費補助金 (萌芽) (2020年度~2022年度) (代)	△△△△に関する研究	
	〇〇生命厚生事業団助成金 (代)	▽▽▽▽に関する研究	
	AMED 助成 (代)	〇〇の臨床応用研究	
2017	文部省科学研究費補助金 (基盤B) (2017年度~2019年度) (分)	□□□□に関する研究	
	厚生省〇〇〇〇研究助成金 (2015年度~2017年度) (代)	〇〇〇〇に関する研究	
	〇〇〇〇記念医学振興財団助成金 (代)	◇◇◇◇に関する研究	

※「研究費」には、企業等からの研究費提供等も含む。この場合は、企業名を明記すること。

(様式4)

記載例

臨床試験等への参加状況

(過去10年間)

氏名:

期間(年度)	試験の名称(代表・分担責任の別)	実施主体	研究費提供組織	試験実施地域(国)
2022~2031	重症食物アレルギー児に対する経口免疫療法により中等重症耐性獲得後の摂取方法に関するランダム化比較試験(分担)	日本アレルギー研究開発機構	国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)	国内
2021~2023	山形コホート対象個人健康調査票での介入によるメタボリック症候群の予防・進行抑制効果の検証(代表)	山形大学医学部	山形大学	山形県内
2020~2025	SNSを活用した中高年世代に対する運動指導方法の効果確認および運動行動習慣化に関する研究事業(代表)	山形大学医学部	(株)ITECテクノロジー	国内
2017~2024	未治療高腫瘍量濾胞性リンパ腫に対するベンダムステン療法後の維持療法の省略ランダム化第III相試験(分担)	日本臨床腫瘍研究会(JCOS)	厚生省	国内
2015~2020	Paediatric Hepatic International tumour trial (co-investigator)	Children's Oncology Society	Children's Oncology Society	欧州・日本・米国